

---

# 逃走中 Mix M@ster! ~グレイト・エスケーパー計画を阻止せよ！~

午後零P

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逃走中 Mix Master! ～グレイト・エスケープ～  
画を阻止せよ！～

### 【Zコード】

N5037W

### 【作者名】

午後零P

### 【あらすじ】

歴代の逃走成功者達のクローンを使って実行される謎の『グレイト・エスケープ計画』。

それを企てる者と、それを阻止するために立ち上がった逃走中の開発者・月村サトシと二人の助手の戦いに逃走者達が巻き込まれる。果たして、ハンターから120分間を逃げ切り、高額賞金を手にする者は現れるのか！？

## プロローグ（前書き）

いつも、午後零マージトイブーニングゼロです。  
私の逃走中第三弾をお届けします。  
少しでも楽しんで頂けたら幸いです。

## プロローグ

ここは大海原の真ん中。

その上を進む船の上に、その人影はあった。

海をバックに赤とピンクの衣装で歌い踊る一人の少女。

その歌が終わつてすぐに拍手があがつた。

春香

「みんな、ありがとう!」

まどか

「大好きです!」

その二人、天海春香と鹿目まどかは日の前に並ぶ仲間達に笑顔を見せた。

律子

「才能あるわね、あの子」

千早

「ええ」

雪歩

「わあ…………」

愛

「最高でしたよ～～（超大声）」

絵理

「ひひひ～～？」

涼

「耳が…………」

冬馬

「絶対黒井のおっさんには負られないよ、一いつ矢

ほむり

「まじか…………綺麗…………」

マリ

「いい歌だつたわ…………」

れやか

「ですね～」

杏子

「ホントいい歌だ……ボリボリ（クッキーを食べる）」

最後の最後に魔法少女となつたまどかの願いによつて『フルプルギスの夜』が倒され、新たな理じとおさが生まれた世界。

本来の歴史では世界を構成する概念そのものとなつて消滅する筈はずだつたまどかはこの時間軸では魔法少女として健在である。

だが、最も本来の歴史からかけ離れているのは……

5

?

「最高だつたよー。」

まどか

「うんー！ ありがとー、『キュウベえ』！

ほむら

「アイドルといつもの理解できるとは、本当に人間臭くなつたわね……」

キュウベえ？

「ボクは本当の事を言つてゐるだけだよ？」

まどかの願いのせいか、少女達の物語の黒幕であつた『インキュベーター』・通称キュウベえが人間の少年のよつた姿になつてゐる事である。

今彼は姿だけでなく心まで人間っぽくなり、かつての面影はインキュベーターの姿の耳?のようなツインテールしかない。因みに、今は『鹿目九兵衛』という名前で鹿目家の養子という事になつてゐる。

杏子

「同人誌か~い!」

マミ

(しかし、これが本当にキュウベえなのね……)

ほむら

(いくら人間として生活するためだからつてこの当て字はちょっと

……)

本作では便箋上、表記は『キュウベえ』とする。

その時、春香ともまどかとも関係のない一人の人物が興奮しながら二人に近づく。

?

「ムツハー！いい歌じゃないのー！」

?

「おいおい……少しは落ち着いたらどうなんだ？」

知る人ぞ知るSOS団の団長・涼宮ハルヒだ。

突っ込みを入れたのは彼女にして、も振り回される男・通称キミン。

ハルヒ

「そちらへんの安っぽいアイドルよりずっといい良かつた！マジよ！あ、まだかちやんだつけ？いつそのことアンタも765プロに入っちゃいなさいー売れるわよきっとー」

まどか

ほむら

……まどかがアイドルに！？

七八九

おおきい！

まどか

「え、ちゅー、ぬるぬるやがれやがれでー。」

八

「鹿田さんの歌、もっと聞きたいわ」

杏子

「サインもらひに行つてやるし、ライブも欠かさず行くからな～！」

キュウベえ

「ボクと契約してアイドルになろうつよー！」

まどか

「ちょ、ちょつと待つて～！（逃走）」

律子

「あら、ビニへ行くのかしら？ フ・65プロはいつでもあなたを待つてるわよ～！」

キヨン

「やれやれ」

逃走するまどかは三人の人物の横を通り過ぎる。

？

「今のつて……」

？

「お、噂をすれば、彼女が鹿田まどかですね……」

「？」

SOS団メンバーにして未来人の朝比奈みくる、超能力者の古泉一樹、キュウベえとは別の地球外生命体（？）の長門有希だ。魔法少女やインキュベーター、まどかによる世界改変を認識しており、その話をしていたらしい。

この三人が認識しているものはもう一つあった。

古泉

「あの人達も地球に起きた異変に気づいていたようですが、彼女達が駆け付けたのは鹿目まどかによつて全てが終わつた後でしたね」

それは次元世界の平和を守る『時空管理局』の存在。

古泉の視線の先に居る七人もそのメンバーである。

なのは

「後で春香ちやんのサインもらこに行こつかな

エリオ

「あ、僕も……」

はやて

「それにしても、船旅つてええなあ……

キヤロ

「そうですね~」

フェイト

「あ、スバルが戻ってきたみたい」

ティアナ

「もう歌は終わっちゃったわよ」

スバル

「ええ～！？せっかくみんなでアイス食べながら見よつとと思ったのに～！」

『ジエイル・スカリエッティ事件』を解決した『機動六課』のメンバー達もこの船旅を楽しんでいた。

しかし、この26人には別の目的があった。

春香

「いよいよだ……」

ハルヒ

「やるからには当然逃げ切るわよ～！」

まどか

（き、緊張するわ……）

なのは

「久しぶりの休みだし、思い切り楽しまないと…」

船はもうすぐ港へ到着しようとしている。

先を見据える26人の手には『逃走中』の招待状が握られていた。

一方、ここは今回の舞台となる場所。

逃走中の開発者・月村サトシとその助手である千早と雪歩のクローン・フェニースとアイリスはその場所にある建物を見ている。

アイリス

「ここで私達と同じ、歴代の逃走成功者達のクローンが作られてい  
る……」

フェニース

「本当にやるんですか？」

月村

「ああ。ここがゲームの舞台になればあひらも迂闊に手出しができ

ない筈だ。何かが起きたら元の地下にあるクローン製造工場を制圧する。「

そして月村は手に持つ端末を操作する。

月村

「さあ、ゲームをしよう」

## プロローグ（後書き）

次回は逃走者紹介です。

## 逃走者紹介（前書き）

今回の逃走者達です。

## 逃走者紹介

『THE IDOLM@STER』からの参加者

いわゞとしれたアイドルプロデュースゲームからの参戦。

今回は前回・前々回の逃走成功者を含めた8人が賞金のために逃げ回る！

天海春香

Haruka Amami

前回は感想を頂いたD・JUNさんいわく『マヌケな確保』だった。行動的であるが、たまに転んだりするのが玉にキズ。

如月千早

Chihiaya Kisaragi

前回は後半戦にて、裏切り者の通報によつて確保。

見た目や静かな印象の裏には、逃走成功という今回の目標への強い意思がある。

萩原雪歩

Yukaho Hagiwara

前回はミッション失敗により10体のハンターに追われて捕まり、

敗者復活後に裏切り者の通報で確保。

最近ハンターに対する耐性がつき始めている。

秋月律子

（Rituko Akiuzuki）

前回の裏切り者。

通報によって賞金ボーナスを100万円にまで釣り上げるも、あえなく撃沈。

その戦略性はテレンス・リーにも引けをとらない。

日高愛

（Ai Hidaka）

前回は裏切り者の通報で確保、復活、残り1分で無念の確保。とにかくハンター以上に神出鬼没で、行動力は26人の中ナンバーワン。

水谷絵理

（Eri Mizutani）

前回は裏切り者の通報で確保。

最近はある程度自分から動くようになつてきている。

一部のまどマギファンから『ハコの魔女』の元ネタといわれている。

秋月涼

RYO Akiyuki

前回の逃走成功者。

運動能力や運があるわけではないが、そこは根性でカバーする。

天ヶ瀬冬馬

Touma Amagase

前回は通報の巻き添えで確保され、復活後は終盤で確保。ミッショーンは全て参加する意欲があり、足の速さはそこそこ。

『『魔法少女まどか マギカ』からの参加者』

最近魔法少女人気を『リリカルなのは』シリーズから奪いつつある作品から6人が参戦。

オリジナル設定として、プロローグの通りまどか含む魔法少女5人が健在&QBがほぼ人間化している。

また、キャラ崩壊が最も激しいと思われる。

鹿目まどか

Madoka Kaname

原作では世界を包む概念そのものとなつて消滅するというあまりにもぶつ飛んだ最期を遂げているが、本作では世界改変後も健在。足は普通だが行動力があり、積極的に動き回る。

暁美ほむら

Homura Akenomi

まどかを救うために何度も時間を遡つてきた、裏の主人公といえる存在。

基本的に行動的でない逃走者とは距離を置く。

マミ

Mami Tomoe

『ティロ・ファイナーレ』と『マミ』でお馴染みの人。

歴戦の魔女少女としての経験故に身体能力も判断力も高めだが、やっぱりハンターは恐い。

美樹さやか

Sayaka Miki

原作では魔女化したり改変後の世界でも結局消滅したりと、不憫な子。

まどか勢で最も足が速い。

佐倉杏子

Kyoko Sakuragi

「独りぼっちは、寂しいもんな」の人。

食べ物を買うために貪欲かつ確實に賞金を狙う。

キュウベえ

（Kyubeee）

原作ではマスコットのふりをした全ての元凶だが、本作では前述の通り身も心も人間そのもの。

インキュベーター時代の食えない所も健在で、基本的にマイペース。

（『涼宮ハルヒの憂鬱』からの参加者）

根強い人気を誇る日常〇「非日常系ライトノベル作品からSOS団の5人が参戦。

果たして、どんな逃走劇を見せてくれるのか。

涼宮ハルヒ

（Haruhi Suumiyama）

SOS団の団長にして作品のヒロイン。

実は本人も知らないとんでもない秘密が……

最近はやや抑えめだが傍若無人で唯我独尊、それでいて身体能力も非常に高い。

キヨン

（Kyono）

主人公でツツコミ担当。

SOS団を含めた癡者揃いの逃走者の中では足も戦略性も運もいたつて普通。

朝比奈みくる

（Mikuru Asahina）

ハルヒの観察にやつてきた未来人だが、詳しい事は禁則事項。初期の雪歩以上にハンターにビビリまくり。

古泉一樹

（Ituki Koizumi）

ハルヒの観察に来た超能力者の組織の一員。

素の足の速さはそこそこでミッショングへの参加意欲もある。

長門有希

（Yuki Nagato）

みくるや古泉と同じくハルヒの観察にやつてきた、キュウベえとは全く別物の地球外生命体。正式名称は長いので省略。ゲームに参加するにあたり、身体能力を普通の人間の女子高生レベルに調整しているらしい。

（『魔法少女リリカルなのはStrikers』からの参加者）

作者の長編「一次創作作品の原作から隊長トリオとフォワード陣の計7人が参戦。

一癖も二癖もある注目の逃走者達だ。

なお、まだか勢となのは勢は変身なしでの参加となる。

高町なのは

「Nanoha Takamachi」

「存知我等がエース・オブ・エース。  
ミッションに対しては積極的だが、幼少時に運動が苦手だった事が  
祟つて変身なしでの身体能力はそんなに高くない。

フェイト・T・ハラウォン

「Fate T. Harrow」

なのはと同等の実力を持つ魔導師。素の状態での身体能力はなのは  
より上で、ミッションにも積極的に挑む。

八神はやて

「Hayate Yagami」

最強ともいえる力を持つ最後の夜天の主。

なのは同様、行動力はあるが足はあまり速くない。

スバル・ナカジマ

Subaru Nakajima

機動六課のムードメーカー的存在。

負けん気が強く、危険を省みずに行動することもしばしば。中の人繋がりか、ほむらとは何かと息が合つ。

ティアナ・ランスター

Teana Lanster

フォワード陣のまとめ役っぽい立ち位置。

足が速く洞察力もあるが、警戒心が強いために動き回るのは苦手。

エリオ・モンディアル

Elio Mondial

紅き幼き槍使い。

今回の逃走者は自分を含めて男が6人しかいないために気合は十分。それに恥じない行動力を持つ。

キャロ・ル・ルシエ

Caro Lu Lushe

最年少の飛竜使い。

フルバック担当のため足には期待できないが、行動力はそれなりにある。

以上  
26名

## 逃走者紹介（後書き）

次回はいよいよゲームスタートになります。

## ゲームスタート！（前書き）

いよいよ今回からゲームスタートです。

全く関係ありませんが、876組と木星が正式にアーマスに登場しました。

でも涼は女装のままで……

## ゲームスタート！

月村が持つ端末にある小さな画面。

逃走者達が港から今回の逃走エリアに到着するのが映し出されたのを確認すると、月村は何かの操作をする。

すると、エリア内のどこかにハンターが入った四つのボックスが転送された。

そしてゲーム開始前、安全のためのヘッドギア・肘あて・膝あてとゲームタイマーを装着し、エリアに散らばる26人の逃走者達。

今回はオープニングゲームを行わず、逃走者達がエリア内に散らばった状態で始まる。

「隠れるところはどこか……？」

古泉

「ハンターはどうから来るのでしょうか……？」

涼

「田舎は一連覇だ！」

マリ

「始まる前からいつも何もかもが恐い……

果たして、逃げ切る者は現れるのか！？

10

9

3

4

5

6

7

8

ハルヒ

4体のハンターが解き放たれ、ゲームが始まった！

..... $T_1 T_2 T_3 T_4 T_5 T_6$

# ブシユーツ！ガシャン！

賞金 ￥0 残り時間 120:00

1

2

「ふう～、始まつたわ～！」

さやか

「い、これからどうしよう……」

愛

「ど～からでも来～い！」

フェイト

「みんな、大丈夫かな…………」

26人の逃走者を追うハンターは、4体。

彼等は驚異的な瞬発力と持久力を持ち、視界に入った逃走者を見失うまで追い続ける。

逃げ切るのは容易ではない。

また、逃げる逃走者達の行動も三者三様。

律子

「いっうちにハンターは……居ないような

エリアの地理を把握すべく、動き回る者。

エリオ

「こぞひつ時に逃げ道が分からなこと辛いな…………」

逃走の戦略を立てる者。

杏子

「やっぱ確實にお金をゲットするには引き際を見極めないとな」

ゲーム中常に増え続ける賞金に心躍る者。

エリア内は一分と経たずして、恐怖と欲望に支配された。

従業員

「どういへー

みぐる

「あ、ありがとハーバードかわい…………」

従業員の女性から飲み物をもらつみくる。

今回のヒリアはたくさんの客で賑わうとある施設なのである。

みくる

「トレーディで見るよつずうと恐いですらー……

いきなりトレーディまくる女。

一方、この近くでは……

ほむり

「ハンターは視界に入った逃走者だけを追うのよね。いくら足が速  
かろうと、見つからなければどうとこう事はないわ」

まずは冷静に辺りを見回すほむり。

しかし、その後方にハンター……

ほむら

「人混みの中でいきなり会つよつた事があればまず助からないわね  
……」

ハンター

「一。」

見つかった……

ほむら

「え？ あれってハンター！？」

ほむらもハンターに気づき、人混みの隙間から逃げていく。

彼女が逃げた先には……

みくる

「ふえ！？」

ハンターに追われるほむらを見つけたみくるは一目散に逃げ始める。

しかし……

みくる

「いや～つー待ってー！」

そのままほむらがみくるを追い抜いた。

ハンター

【LOCK ON MIKURU】

慌ててスピードを上げるも、ほむらに追い抜かれた時にはもうすでにハンターとの距離は6メートルにまで縮まっていた。

みくる

「い~や~！」

ポンッ

「朝比奈みくる 確保 残り25人】

残り時間 118:41

賞金 ¥23700

みくる

「ふええ～…………恐かつたよお～…………キヨ～ンく～ん…………」

ほむら

「危ない危ない。確実に捕まるかと思つたわ。今みたいな状況じゃ他の逃走者を盾にしないと逃げれないわね…………」

ピココシピコリッ

キヨン

「確保情報か！」

確保情報は支給された携帯電話を通じて全ての逃走者に伝わられる。

冬馬

「『ショッピングエリア中心部にて』…………

はやて

「みくるちゃん捕まつてもうた……」

キュウべえ

「『朝比奈みくる確保、残り25人』……」

ハンターから逃げた時間に応じて、賞金を獲得できる。それが、

Run For

Money

逃走中

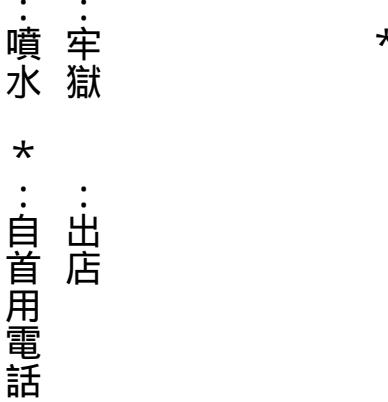
逃走劇の舞台は、『トワイライト・ガーデン』。

豊かな自然に包まれた巨大庭園が特長の日本有数の観光スポットで

ある。

前述の巨大庭園、お祭りの出店のようなショッピングエリア、観光客の車や従業員のトレーラーが並ぶ駐車場エリア、エリア北西を占める宮殿のような美術館で構成され、広さは東京ドーム約2・5個分に相当する。

下の図が逃走エリアの簡易地図である。



この地図の のエリアが巨大庭園のあるガーデンエリア。のエリアがお土産屋などが立ち並ぶショッピングエリア。が牢獄が設置された駐車場エリア。

そしてガーテンヒリア西部の が連なっているのが美術館である。

25人の逃走者は、このヒリア内を120分間逃げ回る。

冬馬

「やつぱいの金が増えるドキドキがたまんねーぜ」

絵理

「もう2万円…………越えてる?」

賞金は1秒300円ずつ上升。見事120分間を逃げ切れば、最高賞金216万円を獲得できる!-

杏子

「うふふふふ…………待ってるからな~電話ちやん

このゲームは自首、つまり途中でゲームから降りる事もできる。エリア内の一ヵ所に設置された自首用電話で申告すれば、その時点で賞金を獲得し、ゲームからリタイアとなる。

但し、エリア内には4体のハンター。捕まれば即失格、賞金は0！

アイドル達だけでなく、新たな参加者をも恐怖と欲望の渦へと誘つ  
一獲千金のゲームは、まだ始まつたばかり。

果たして、ハンターの追跡から120分間逃げ切り、高額賞金を手  
にする者は現れるのか！？

## ゲームスタート！（後書き）

今回は携帯で使える記号を組み合わせて簡単な逃走エリアの地図を作つてみました。

果たして、パソコンでちゃんと表示されるのか……

## それぞれの行動（前書き）

みぐるの確保から始まつた逃走劇。  
最初のミッションは……これだ！

## それぞれの行動

残り時間 117:30

貰金 ￥45000

ここはエリア北西の美術館の内部。

この中も逃走エリアとして進入が可能だ。

「ハンターってこっちにも入ってくるよねきっと……」「……まだか

動き回つて いるうちに 美術館へ 入つてい たまどか。

その時、まどかの背後から

冬馬

「よし、鹿田」

まじか

冬馬

「ハンターじゃねえよ。俺だって

いつもの黒い衣装での参加であるため、まどかにハンターと間違えられた冬馬。

冬馬

「ちつ……だから今回は私服で参加しようかなって思ったんだよな。俺ってグラサンかけたらほほハンターそのものじゃねーか」

まどか

「こ、似てるかも……ちつぱな冬馬さんば賞金どれくじこまで狙つてますか？」

冬馬

「俺は金も欲しいけどまずは逃げ切る事を考える」

まどか

「あー、せっぱり……私も逃げ切りを狙つてますー。」

冬馬

「やうか。頑張りな

一方、こじは博物館の外の茂みの近く。

ティアナ

「いい隠れ場所を見つけた……」

すぐさま茂みに隠れる、茜色のガッシュリンクガーガール。

ティアナ

「よし。とりあえず今は隠れて、ミッション始まつたら動く。この作戦でいつてみようかな?」

このゲームでは珍しい戦略だ……

ティアナ

「…………ん?」

遠くにハンターを見つけた。

ハンターはこちからに気づいていなこよつだ。

そのハンターが向かう先には……

マリ

「うわちから来たら……」うわちーで、あつちから来たら……」うわちー

ハンターに見つかった時のシナリオコレーショーンをしてこぬ田山マリ。

その近くで……

マミ

「あら、秋月さん」

律子

「あ、どうもどうも」

冬馬と同じく、黒い衣装……といつかスースで参戦の、前回の裏切り者。

ママ

「テレビで見てましたよ、以前の裏切りっぷりは」

律子

「お陰で最近はドラマの犯人役や悪女役のオファーが増えて増えて

ママ

「ああ、そういうえばこの前の2時間ドラマの犯人役してましたね」

律子

「ええ。この前なんて『悪イリッチャンモカワイイデスヨ』つていつフアンレター来ちゃったし、もつびつじようかとーーー

話のはずむ一人。

その時、ティアナが見たハンターが……

ハンター

「！」

マミ

「できれば無事にフイナーレを迎えたいわ」

律子

「そうですね……ってハンター来た！」

マミ

「んなつー!?」

マミ

「何で～！？」

気づいた一人に迫るハンターはマミに狙いを定めた。

ハンター

【LOCK ON MAM】

黄色の髪を揺らしながら必死に走り続けるマリ。

しかし、少しずつ距離は縮まっていく。

マリ

「……あああああつーああーつー

ポンッ

「田中マリ 確保 残り24人」

残り時間 115:53

賞金 ¥74100

マリ

「うつ…………私とした事が…………ちょっと話してただけなのに私だけ一足先にファイナーレになっちゃった…………」

『お菓子の魔女』の時のまゝつな、呆氣ない幕切れだ……

さやか

「確保情報…………うわー！マハーンー！」

キヤロ

「『ガーデンエリア・博物館付近』『田代マハーン』『確保情報…………』

律子

「あー、また悪女役のオファーが増える…………」

その頃、駐車場では……

千早

「やつぱり、何度も恐いわね…………」

絵理

「…………この待受画面…………ちょっと恐いっ！」

停まっている別々のトラックに隠れる千早と絵理。

千早

「貴、角を曲がらうとした時すぐ目の前にハンター来て捕まつたのよね……。曲がり角とかこういつ物影も油断できないわ」

前々回は敗者復活の末に逃走成功の千早。

しかし、復活前の確保は軽いトラウマになつてゐるようだ。

その時、1体のハンターがこちらへ歩いて来る。

トラックが影になり、千早もハンターも気づいていない。

絵理

「どうしようかな……動こうかな……ひうつーー?」

ハンター

「ーー」

ハンターはトラックを挟んだ向こう側に絵理を見つけ、確保へ向かう。

千早

「今のうちに移動を……」

ハンターに気づかぬままトラックから離れようとする千早。

しかし、ハンターが急接近。

そしてハンターが千早が居たトラックの近くを通り過ぎ去りとした時……

ハンター

【LOCK ON CHIHAYA】

千早

「!?

千早が視界に入ってしまった……

ポンッ

千早

「あやああああああ！」

「如月千早 確保 残り23人」

残り時間 115:04

賞金 ￥88800

千早

「何でこんな…………曲がり角からいきなり来たり通報されたり  
捕まり方がいつもいつも口クなもんじやないわ…………」

スバル

「なのはさん!」

なのは

「確かに今千早ちゃんの声が!」

千早の甲高い悲鳴はショッピングエリアにも聞こえていた。

ピコリッシュピコリッシュ

なのは

「確保情報…………やつぱり捕まつちやつたんだ！」

春香

「あーー！ 千早ちやん捕まつちやつたーー！」

長門

「残りは…………23人」

その頃、直接エリア内に来ている月村達を見下ろすある存在があった。

？  
「ち、ちう出るか…………」

どこかで見たような顔の存在は弦く。

アイリス

「しかし、あの地下にあるクローナンを使って何をするつもりなのでしょうか」

月村

「今までの調べではそこまでは分からなかつた。だが、このゲームを潰すと同時にこの過去の時代で何かとんでもない事をしようとしているのは間違いない」

月村  
「そう言いつつ端末を取り出す。

月村

「地下制圧用ハンターの到着はまだか?」

フェニス

「まだ時間がかかりそうです」

月村

「ならば芝ショーンも兼ねて時間稼ぎをするとしよう。さすがにあちらもゲーム中に逃走者に手を出すような事はないだろ?だから、逃走者を動き回らせていた方が都合がいい」

そつまうじ田村の端末には、逃走者達の位置を示すGPS地図が表示されていた。

残り時間 113:00  
賞金 ¥126000

ピリオド・ピリオド

フェイド

「これは……」

メールだ。

フエイト

「来たー。』//ツシヨンー』ー。」

ハルヒ

「『今回君達が持つゲームタイマーにはゲーム開始からの移動距離を計測する機能が搭載されている』何それ？」

雪歩

「『ゲーム残り100分までに総移動距離が2kmに達しなければ、その逃走者は』…………」

古泉

「『その逃走者は強制失格となる』…………いきなり厳しいですね」

涼

「『なお、移動距離は博物館内にある電工掲示板で確認する事ができる』…………ちょっとやばいかも…………」

## 【MISSION1 強制失格を回避せよ】

現在、逃走者達の腕に装着されたタイマーによつてゲーム開始からの移動距離が計測されている。

ゲーム残り100分までに2kmの距離を移動しなければ強制失格となる。

総移動距離はその場で確認する事はできないが、エリア北西の博物館内にある電工掲示板に全員のゲーム開始からの移動距離が表示されている。

まどか

「あれじゃないですか？」

冬馬

「おー、全員分見れるのか

まどか

「しかも捕まつた人の名前の横に『確保』って書いてある……

愛

「ホントですねー！

冬馬

「うおっー！ 一つの間にー！？」

愛がまどかと冬馬に合流し、三人は一緒に電工掲示板を見る。

「日高愛 1・4Km」

「天ヶ瀬冬馬 0・6Km」

「鹿目まどか 0・9Km」

冬馬

「結構歩いてんだな二人とも」

残り100分までに移動距離が2Kmに達していなければ、その時点で強制失格。

しかし、距離を稼ごうと動けばハンターに見つかる危険も高まる。

果たして、強制失格になつてしまつ者は現れるのか！？

残り時間 112:29

賞金 ￥135300

残り23人

## それぞれの行動（後書き）

イブニングゼロの逃走中初の強制失格ミッション。  
果たして、全員クリアできるか！？

## 未残つ田端じて 0・5 理 (前書き)

なのは A.W を執筆していく遅くなりました。  
ミシシッパーです。

## 生き残りを目指して 0・5 理

今回のゲーム最初のミッションが始まった。

ハンターから逃げつつゲーム残り100分以内に2Kmの距離を移動できなければ強制失格となる。

残り時間 112:00

賞金 ¥144000

前回 開始時 25人

確保 2人

現在の逃走者 残り23人

みくる

スタスタスタ

「.....」

杏子

「ほーほー……」

キュウべえ

「えつほ、えつほ」

「移動距離を稼いでいつと、牢獄の前を行ったり来たりする杏子」とキュウべえ。

キュウべえ

「ふいー……結構疲れるよねー」

杏子

「ふー…………せめてどこのぐらい走ったかすぐ分かればいいんだが、それには美術館行かないとなんだよな」

キュウべえ

「ボク達は今110mぐらーいの距離を往復しているから、5往復で100m。つまり…………」

杏子

「最低でも100往復しないといけないのか。辛いな…………今ハンター來たらやばいぞ」

キュウべえ

「いや、千早を確保したハンターはもう回り回り行ったりたし、そつ簡単には…………」

マリ

「いじえ、ハンターはどこから来るか分からない。ちょっとでも気  
づくのが遅いと……マリ」「さあマリ

杏子

「あ……マリ……？」

キュウベえ

「何だいそれは？」

マリ

「わ、私みたいに油断して捕まる事よ／＼／＼

ハンターは神出鬼没。ほんの一瞬でも気を抜けば、確実にマリ。

ほむ

りむ

「あ、あなた達は……」

スバル

「お~い

なのはとスバルにほむらが合流。

スバル

「ちんとまつたるよ、おまえさん～？」

ほむら

「ほむほむ！？」

なのは

「にやはは……スバル、ほむりひやんと仲良くなりたいって言つてたから……」

スバル  
「あたしと声似てるし~」

ほむら

明るい雰囲気の三人の近くに、ハンター…………

ハンター

1

「来たよ！ハンター！」

「えー！  
スバル

ハンターに見つかり、三人は同じ方向へ走り出す。  
そしてなのはとほむらは途中で別の方向へ逃げようとする。

スバル

「ひいい～！」

なのは

「あれ！？ ちょっとスバル～！？」

ハンター

「LOCK ON NANOHA】

一歩遅れたスバルはほむらと同じ方向に逃げていき、なのはは一人ハンターに追われる。

全力全開で走り続けるも、ハンターは瞬く間に追い付いてくる。気づいた時には、確保まであと3メートル。

なのは

「にやああ～！」

ポンツ

「高町なのは 確保 残り22人」

残り時間 110:29

賞金 ¥171300

なのは

「ええ、無いよ、何でスバルあっちに行っちゃったの、  
このゲーム一人じゃすつごい恐いのに、」

不屈のエース・オブ・エース、まさかの早々の撃沈……

ほむら

「あつちはあつちで捕まつたみたいね」

スバル

「あ、絶対後で怒られる……」

エリオ

「確保情報…………ええーーー? なのはさーん! ?」

繪理

「『残り22人』…………ひづ…………恐い…………」

春香

「うわー、目の前で捕まってる…………恐いよー…………」

近くに隠れていたために目の前でなのはの確保を見ていた春香。ハンターがまだ近くをうつうつき、思ひように動けない…………

ティアナ

「とりあえず一回りへん回つてれば…………危なつ!」

美術館の周りを回つて距離を稼ごうとするティアナはまたハンターを発見。

ティアナ

「つたく、何でさつきからあたしの近くにハンター来るのよ……  
さつきはなのはさん捕まつたし、あいつら機動六課に何か恨みでも  
あるんかい……」

一方、美術館内では冬馬とまどかが少し前の杏子とキュウベえと同  
じ事をしていた。

まどか

「ど、どのがらい行つたのかな……」

冬馬

「何だ、もうくばつたのかよ？」

まどか

「ま、まだ大丈夫です！」

冬馬

「やうこなくつちやなーさて、あとどんぐらこかな、つと……」

電工掲示板を見る。

「天ヶ瀬冬馬 1.6Km」  
「日高愛 CLEA R」  
「鹿田まどか 1.9Km」

〔涼宮ハルヒ CLEAR〕

冬馬

「おっしゃーもひゅーいー！」

まどか

「愛ひやこと涼宮さんクリア早ーい……」

既に愛とハルヒがミッションをクリアし、冬馬とまどかもクリアまであとわずか。

しかし、ティアナが田撃したハンターが……

ハンター

「ー」

一瞬だけ美術館の中のまどかの姿が田に入り、確保へと向かう。

冬馬

「ハンター来やがった！」

まどか

「今度は本物〜！？」

逃げる二人を追いかけようと美術館に入るハンター。

ティアナ

「死ぬかと思った……」

ハンターがすぐ横ギリギリを通り過ぎたティアナは一度美術館の壁に沿つてその近くを離れる。

一方、ハンターに追われるのは……

まどか

「いや〜！」

まどかだ……

ハンターとの距離がそんなに近くない内に、通路の角を曲がつて逃げる。

ハンター

「？」

ハンターの視界から外れたようだ。

まどか

「も、もう追いかけてこないよね？」

ハンターはまどかを見失い、引き返す。

その先には……

冬馬

「鹿目がクリアしたか……」

ハンターに追いかけられているうちにまどかの移動距離は2Kmを越え、電工掲示板のまどかの名前の横に『CLEAR』と浮かんでいた。

冬馬

「俺も早いところクリアしないと……って嘘だろー？」

戻ってきたハンターに気づき、あけらへんに気づかれる前に美術館を出る。

ティアナ

「あ、今ハンター入つてつたけど大丈夫なの？」

冬馬

「多分もひっしち来るから逃げた方がいいぞ」

入口近くへ戻つて来ていたティアナは再び離れる。

ハンター

「…」

冬馬

「来たか！」

ハンターは入口を出た所で冬馬を視界に捉え、確保に向かう。  
美術館からかなり離れていた冬馬はその先の木々が生い茂る場所へ。

そこには……

キヨン

「つおつー？」

森の中で動き回っていたキヨンだ。

巻き添えを喰らい、冬馬と共にハンターから逃げる。

ハンター

「？」

木々が遮蔽物となり、うまく撒いたようだ。

キヨン

「なぜハンターがこっちに……」

冬馬

「知らん」

その頃、美術館には別の逃走者が辿り着いていた。

雪歩

「あともうひとつとか……」

古泉

「僕もですね」

まどか

「私とさやかちゃん、いつの間にかクリアしてた

「鹿田まどか C L E A R  
「美樹さやか C L E A R  
「古泉一樹 1 . 6 K m」

現在の所、ミッションクリアが確定してるのは田高愛・鹿田まどか・美樹さやか・涼宮ハルヒの四人。

果たして、全員クリアなるか……

残り時間 106:30  
賞金 ¥243000

ミッション残り時間

- - - - - 6:30 - - - - -

残り22人

## 生を残す田端して〇・5理（後書き）

まじマギポータブルにQB視点のモードがある事が判明。  
もし五人全員生き残つたらどうなるのや。ひ。

## 強制失格5秒前！？（前書き）

一日で書き上げたのですつゝーー適当ですが、ミッションの続きです。

## 強制失格5秒前！？

残り時間 106:00  
賞金 ¥2520000

前回 開始時 23人  
確保 1人

現在の逃走者 残り22人

さやか

「さすがにやばい…………もう時間ないつてこれ…………」

移動距離を稼ぐうと積極的に動くさやか。

しかし、既に移動距離は2Kmに達している事をさやかは知らない。

他の逃走者達にもだんだんと焦りが見える。

エリオ

「もうすぐか…………」

長門

「あと5分……」

ミッション残り時間

5 : 00

涼

「さすがに序盤で失格はやだよ……」

杏子

「あとどんぐらいだよーーー?」

ミッション終了まで5分を切った。

果たして、強制失格を免れる事はできるのかーー?

スバル

「きつついね~」

ほむら

「ええ」

この一人もミッションクリアのために動き回る。足の速いスバルが普通なほむらをアシストするといつ形をとり、なんとかハンターに気づかれずについた。

しかし、何事も長くは続かないものである。

ほむら

「いたわ！ハンター！」

スバル

「嘘つ！？また！？」

ハンター

「！」

ガーデンエリアへ向かっていた一人だったが、ハンターに見つかり、駐車場へ引き返す。

みくる

「あ！スバルさんです！」

マミ

「暁美さんも…………追われてる！？」

なのは

「頑張れ～！」

スバル

「なのはさ～ん…わっしづば～めんなさ～い！」

捕まつた四人の声援を受けつつハンターから逃げる一人。

ハンター

「？」

駐車場のトラックの影を利用して、ハンターの視界から消えた。

ほむら

「あ、危ない…………」

// ツ ショ ン 残り 時 間

3 : 0 0

「シヨン終了まであとわずか。

涼

「ああああああああん！まだ足りてないーー！」

十一

「うん……私もあとちょこなんだけどな」

「秋月涼」 1.8 Km

「キヤロ・ル・ルシエ 1. 7 Km」

他にも電光掲示板を見るためにフュイト、キミン、律子が美術館を訪れては外へ戻つていつた。

## ミッション残り時間

1  
:  
0  
0

はやて

「みんな大丈夫かいな……」

0 : 50

キュウべえ

「あとは結果を待つだけか……」

0 : 40

雪歩

「強制失格になつたらこゝへり六掘つても掘りきれないですう……」

…

0 : 30

キヨン

「時間だな……」

5

6

7

8

9

0 : 10

愛  
「春香さん、大丈夫かな……」

0 : 20

ピココロシピコロリッ

賞金	¥	1	0	0	:	0	0
3							
6							
0							
0							
0							
0							

1

2

3

4

春香

「『ハッシュ』の結果』…………」

まどか

「『現在の逃走者は22人。その内1人が強制失格となつた』…………」

長門

「『その逃走者は』…………」

惜しくも全員クリアとならず、1人が強制失格となつた。

その逃走者は

ティアナ

「ええ！？あたし強制失格！？…………うわ～、やつちやつた～…………この辺り回ってるだけじゃ足りなかつたんだ～…………うわ～悔しい…………」

「ティアナ・ランスター 強制失格 残り21人】

強制失格 残り21人】

残り21人】

スバル

「ティアー！？」

律子

「五五五五」

古泉

「全員クリアはなりませんでしたか……」

## 牢獄DEトーケ

۲۷۱

## 「ティアさん強制失格！」

なのは

「ああ～……」

みぐる

「ひえ～…………どんどん減つてゐるよ～…………」

千早

「いや、今のペースはこつもこつは短こまつだといゆつわ」

なのは

「そうかなあ？」

マミ

「それよつ、姫田さん」

千早

「？」

マミ

「あなたの活躍、DVDで見てたわ」

千早

「え？ もうDVDが？」

マミ

「ええ。前の遊園地でのあなた、輝いてたわ」

千早

「いや、私は敗者復活からだつたから…………」

なのは

「雪歩ちゃんは最初から最後まで逃げ切ったもんね。その次の涼君  
も」

「マニ

「私逃走中大好きで、DVDも全部持ってるの。特典映像の牢獄D  
Eトークも全部見たわ。案外笑い上戸なのね、あなたって」

千早

「.....／／／

牢獄の者達が明るくそんな話をしている間、残る逃走者達はハンタ  
ーの恐怖に必死に耐えている。

逃げ切る者は現れるのか.....

残り時間 99:13

賞金 ¥374100

残り21人

## 強制失格5秒前！？（後書き）

今更ですが、人間化した本作のQBの容姿はある同人誌のような姿です。

その同人誌では女の子なのですが、本作ではそれを男にしたような感じです。

要は昔の秋月涼のような男に見えない男です。

そしてもうすぐ逃走中があります。

絶対見ましょー！

**表と裏で動き出す者達（前書き）**

9日目の逃走中は見ましたか？

## 表と裏で動き出す者達

残り時間 98:56  
賞金 ¥379200

前回 開始時 22人  
強制失格 1人

残りの逃走者 21人

キュウべえ

「それにしても今日は絶好の契約日和だよ。今のボクの姿じゃ誰も相手にしてくれないけど」

ミッションを終えたキュウべえはガーデンエリアを散策していた。

ふと噴水を覗くと、人間の姿をした今の自分の顔が水に映る。

キュウべえ

「.....」

まどか達や過去に出会った少女達をエネルギー採取の道具にしていました頃を思い出し、虚しくなった。

今度は人間の心と身体を手に入れ、まどか達と暮らしていく中でまだかが笑う顔を思い浮かべ、ちょっと楽しくなった。

そして、もう一度噴水に映る自分を見る。

キュウべえ

「…………人間っていうのも、案外悪くないかな…………おっと、ハンターダ」

そつ啖き、遠くに見えるハンターに気づかれる前に近くの看板に隠れる。

しかし、別の方向からもハンター…………

キュウべえ

「また来た…………つまくやり過ごしたいけどな…………」

距離が縮まり、絶体絶命のキュウべえ。

フェイト

「あー居る…………」

ミッション終了後、ティアナが隠れていた茂みに身を潜めていたフェイトはそのハンターの後ろ姿を見てさらに警戒を強める。その距離はキュウべえより近い。

キヤロ

「フェイトさん大丈夫かな…………あんなのに追いかけられたらいくらフェイトさんでも恐いよね…………」

心配になつてフェイトに電話をかける。

フェイト

「そのまま…………そのまま向ひへ行つて…………」

フルルルルル

フェイト

「（ 、 、 ）」

ハンター

「？」

フェイト

「アーネスト、アーネストでござる」

ハンター

!

着信音でハンターに気づかれ、逃げ始める。

逃げた先には

「あれ? フィットさん近くに.....え?」

## 保護者の巻き添えになつた

キヤ  
口

「来ないで下さい～！」

フ  
ル  
イ  
ト

「そ、そんな事言つたつて～！」

ハンターロックオンフェイトカーロ

必死に走るも、やがてフェイトがキヤ口を追い抜き、大きく引き離

す。

よつて必然的にキャロがハンターの標的となる……

キャロ

「わ～っ！ やだ～っ！」

ポンッ

「キャロ・ル・ルシ工 確保 残り20人」

残り時間 96:49

賞金 ￥417300

キャロ

「はひい～……もしかしてフェイトさんがハンターに追いかかれでこつち来たのって、私が電話かけたせい？」

悪意はないが、運もなかつた……

フヨイト

「あわわわわわわわわ…………私キャロになんて事を…………○(^▽^)」

キュウベえ

「……………」

愛

「『美術館付近にてキャロ・ル・ルシ工確保、残り20人』…………」

エリオ

「機動六課がどんどん脱落してゐるな…………僕も気をつけないと」

杏子

「食つかい？」

さやか

「こんな時までおやつ食べてるし…………緊張感がないんかい」

ショッピングエリアにて、涼しい顔でう〇〇い棒をかじる杏子。もう片方の手には三本が握られており、さやかは一本を受け取つて食べ始める。

さやか

「まさか自首する気はないよね？」

杏子

「さーね。逃げ切るか自首するかちょっと迷つてるんだよな。お金があればおやついっぱい吃えるけど、ハンターに捕まつちまつたら0円だし……」「……」

さやか

（絶対自首しそう……）

杏子

「…………ん？ 何だ？」

杏子が辺りを見回すと、ある人物達を中心に入だかりができている。

杏子  
「あれ！？ もしかして……」

さやか

「竜宮小町だ！」

その中心に居たのは、今回のゲームに不参加の龍宮小町の二人であった。

あずや

「あら、まじかちゃんのお友達のやせかわちゃんにやけんやしづなーのー」

れやか

「え？ なんであたし達の事を？」

伊織

「前に見滝原市でのライブがあつたでしょ。その時あるしがまたびつかいにつけられてやー」

亜美

「まじっちは見つけてくれたんだよー」

杏子

「ふーん……もしかしてこのライブっ..」

伊織

「やうやくね。まじ」

伊織が指差した先には特設ステージがあった。

伊織

「せつかくの仕事なのに律子は『逃走中に死ぬ』つていつて居ないから私達だけでなんとかやつてるって訳。しかもその舞台がここな上にあんた達が参加してるなんて」

あずさ

「さつき絵理ちゃんに聞いたのよ~」

律子

「ふえっくしー。」

その頃、月村達は……

月村

アイリス

「準備完了しました」

「よし、早速次のミッションを始めたところで

フュニス

「それにしても、敵はどこで……」

月村

「もし相手が我々がグレイト・エスケーパー計画を嗅ぎ回っている事に気づいているのならば、必ず何かしらの妨害がある筈だ。最初のミッションで時間稼ぎができるれば尚更だ」

フュニス

「もしそうなったらいつも……」

月村

「外部からの不正アクセスによる妨害なり、その経路を辿つて発信元を特定できるだろ？」

月村  
「そう言つと月村は端末を操作する。

すると、エリア内にハンターの顔を模したマークが映し出されたモニターがある七台の機械が転送された。

残り時間 93:00

賞金 ¥486000

ピリオドピリオド

涼

「おひといと……」

メールだ。

涼

「あ、メール…………『ミシショソニ』か！」

長門

「『ヒリア内に七台のハンター誘導装置を設置した』……」

ほむら

「『ゲーム残り75分になるとヒリア内にハンターを7体放出し』

7体！？」

キヨン

「『以降3分』とにハンターが7体ずつ放出され続ける』だと…。」

さやか

「『阻止するには装置の一つのレバーを一人同時に降ろして装置を止めなければならぬ』」

はやて

「『装置は1～7までの番号順に止めなければならず、1台停止する』ことに放出されるハンターの数が1体減る』……うわ～、ムズイわ～』

【MISSION 2 ハンター誘導装置を停止せよ】

エリア内に設置されている、七台のハンター誘導装置。

ゲーム残り7～5分までに誘導装置を探し出し、装置の一つのレバー

を一人同時に降ろして停止させなければ、駐車場エリアにあるトワライト・ガーデンの入口から停止していない装置と同じ数のハンターを放出。

その後、3分<sup>1</sup>とにハンターが停止していない装置の数だけ放出され続ける。

但し、装置には1～7の番号が刻まれており、番号順に装置を止めなければならない。

また、装置は美術館内、ガーデンエリアの森、噴水の自首用電話の近くに一組ずつ、ショッピングエリアと駐車場に止まっているトラックの中に一組ずつ設置されており、地図で確認もできるが、番号は分からぬ。

さやか

「ちよつど」人居るし、行くよー

杏子

「おく」

春香

「い、これは行かないと……」

ハルヒ

「あたしがやりやクリアしたも同然でしょ！」

エリオ

「7体とか来たら終わる…………行かないといー。」

まどか

「ほむりがりちゃんはミッション行く？（ほむりに電話中）」

ほむら

『まどかが行くなら私も』

さやか、杏子、春香、ハルヒ、エリオ、まどか、ほむりがミッションへ向かう意思を示す。

冬馬

「まどかは他の連中を探すか…………」

冬馬も果敢に動き出し、装置より先に他の逃走者を探し始める。

7台の装置を止めなければ、大量のハンターが放出されてしまつ。

しかし、Hリア内には4体のハンター。動けば見つかる危険も高まる。

ハンター放出を阻止する事はできるのか！？

残り時間 91:42

賞金 ￥509400

残り20人

表と裏で動き出す者達（後書き）

新たなミッションが始まりました。

一方の月村達の動きにも注目です。

## 大量ハンター放出の恐怖（前書き）

ミッショーンです。

## 大量ハンター放出の恐怖

逃走者が残り20人になった所で、新たなミッションが始まった。

二人の逃走者でハンター誘導装置を番号順に止めなければ、残り7分から3分ごとにハンターが放出される。

残り時間 91:30

賞金 ¥513000

前回	開始時
	21人

確保 1人

残りの逃走者 20人

ショッピングエリアにてハンター誘導装置を探すエリオ。

エリオ

「しかしこの辺は人が多いな……ハンターが紛れ込んでるかもしないし、慎重に行かないと」

ハンターは神出鬼没。いつどこで遭遇するか分からぬ。

エリオ

「装置どこだ〜？」

辺りを見回しつつ先へ進む。

しかし……

店店店店店店店

誘導装置

エ

店店店店店店店店

誘導装置を通り過ぎた。

キュウベえ

「ハンター誘導装置つてこれの事かな？」

いち早く噴水近くの誘導装置を見つけたキュウベえ。

まどか

「キュウベえ！」

キュウベえ

「あ、まどか」

そこに装置を探すまどかが姿を現す。

まどか

「キュウベえせむシシソンやつてるの？」

キュウベえ

「装置を見つけたからにはやらない手はないね。でもこの装置の番号は6だ。まだ止められなー」

ハンター誘導装置は黒い円筒状になつており、モニターの左横に数字が刻まれている。

キュウベえの言つ通り装置には『20.6』と刻まれてあり、モニターにはハンターの顔の下に『切替不可』と表示されていた。

まどかは困った顔をした後、別の装置を探しに行つた。

ハルヒ

「あつた～！つて違うじゃん！」

ハルヒも駐車場のトラックの荷台にある誘導装置を発見。  
しかし、番号は3だ。

ハルヒ

「あ、春香ちゃん……ちゃんと探してんのかな」

視界にはトラックに隠れつつ装置を探す春香の姿。

その近くに……

ハルヒ

「げつ…やっぱ…」

一瞬黒い何かが見え、その場を離れるハルヒ。

しかし、それはハンターではなく……

「あ、//シ・シ・ンやつたる？」

春香

「当然ですー。だつてハンター7体も……」

律子

「わづね。しかし最近は逃走中も進化したわね……//シ・シ・ンも舞合もとにかく色々」

そつまわつつけ装置を探す。

そして……

春香

「あつまつたー！ 20.1ですよ、20.1ー。」

遂にZ0.1の装置を見つけ、春香と律子はレバーを引ぎつつある。

じじいが……

律子

「ん？ ちょっと待つって？」

春香

「うん！」

「え？」

律子

「え、ちよ、何これ？切替不可！？」

春香

「ええ～！？」

一番最初の装置である箒のZ。・1の装置に『切替不可』と表示されていた。

春香

「切替不可つて……」

律子

「え？え？どうするの？？」

試しにレバーを降ろしてみるが、装置は止まらない。

混乱する二人の近くに、冬馬が現れる。

冬馬

「何してんだ？装置でも見つけたのか？」

春香

「そ、それが……」

律子

「一番の装置を見つけたはいいけど、切替不可になつてんのよ。……  
…一番最初に止めなきゃならない箇なのに……」

冬馬

「何つー?」

一方、*イナヒナシコシペイングニア*。

涼

「あ、あれじゃないですか誘導装置ついて?」

はやて

「ホンマやー。」

涼とはやてが合流し、竜町小町のステージ近くに別の装置を発見した。

はやて

「でも『Z.O.・F』って書いてあるや~」

番号を確認してすぐ通り過ぎる一人。

さやか

「あ、涼！装置見なかつた？」

涼

「あつちの装置は7番だつたよ」

杏子

「場所だけ確かめといつ」

別の方から来たさやかと杏子が先程の装置へと向かう。

しかし、その正面からハンター……

ハンター

「！」

杏子

「つてハンター来た！」

はやて

「なんやつ……？」

さやかと杏子はすぐ物影に隠れ、はやてと涼もまつすぐ逃げた後にお店に隠れる。

ハンター

「？」

ハンターは四人を見失ったようだ。

しかし……

長門

「！」

ハンター

「！」

たまたま近くを通り掛かった長門が見つかった……

涼

「不幸な人だ……」

はやて

「運が悪かつたな～」

その様子を出店の影から見つつ、ハンターが離れるのを待つ涼とは  
やで。

ハンター

【LOCK ON YUKI】

その気になればハンターなど簡単に振り切れる長門だが、ゲーム中はそうもいかない。

普通の人間レベルの速さで走る長門にハンターが迫る。

長門

「.....！」

ポンツ

「長門有希 確保 残り19人】

残り時間 87:37

賞金 ￥582900

長門

「…………捕まつた」

無表情で牢獄へ向かう

ハルヒ

「有希～！」

スバル

「『長門有希確保、残り19人』…………」

繪理

「20人切つた？」

まどか

「あつた！…………あれ？さやかちやん？」

さやか

「お？」

杏子

「せつちも探ししてたみたいだな？」

まどか、セヤカ、杏子が先程のＺ〇・フの装置に辿り着く。

杏子

「Ｚ〇・フだから一番最後か。手分けして探すぞ」

まどか

「うふ……あれー？」

その時、まどかが装置のモニターを見て驚く。

セヤカ

「まどか、どうし……あれれー？」

「何と、Ｚ〇・フの装置のモニターに『切替可能』と表示されていた。

セヤカ

「えー…むづい止めるのー…早くないー？」

杏子

「とにかくやつを止めるや」

さやかと杏子が装置のレバーを降ろすと、モーターが消える。

ハンター誘導装置 停止 残り6台

愛

「メール…『美樹さやか、佐倉杏子の活躍によりハンター誘導装置が1台停止』……」

キヨン

「あと6台か」

まどか

「でも、ミッションクリアってメールが来ない…」

一方、N.O.・1の装置の近くの二人は……

プルルルルルル

冬馬

「おみ~鹿田から電話だ」

律子

「随分まどかひやんと仲良くなね」

冬馬

「まあな。もしも~し?」

まどか

『タ馬やん~今セヤカちゃんと和子ちゃんが装置一つ止めましたよ』

冬馬

「え?止めた?俺今一番の装置の近くなんだが、切替不可になつてたぞ」

まどか

『へ?セヤカちゃん達が止めたの?·?つて書いてありましたよ?』

冬馬

「ああん?ノ?·?つて?·?ん!~?まさか~?」

まどか

『じつしたんですか?』

冬馬

「確かメールに『1から順番に』とは書いてなかつたよな?」

まどか

『え?そうでしたっけ?』

冬馬

「もしかして番号順は番号順でも、7、6、5、4、3、2、1の順番に止めないとなんじゃねえか？」

まどか

『えーーー?』

一方、月村達は……

月村

「どうやら無事に気づいてくれたようだな。発信元は掴めたか？」

月村は1から順番に止めるように設定していたが、外部からの妨害によつて順番が逆になつてしまつた。

しかし月村はそういうたゲームへの妨害を誘つ事でその大元、つまりグレイト・エスケーパー計画の首謀者を探つとしていた。

フュニス

「どうやら発信源は月村様が持っているものと同じ外部端末のよう  
です」

月村

「これでは犯人の特定は難しいな…………」

月村達は地下制圧用ハンターが来るまでもうしばらく様子を見る事  
にした。

その姿を、どこからか見下ろす者が居た。

?

「なかなか手の込んだ真似をするな。R8（アールエイト）、引き  
続き監視を続ける」

R8

「了解…………」

R8と呼ばれた謎の少年がその人物に頷く。

?

（月村、お前が何をしようとグレイト・エスケーパー計画は止めら  
れない。何しろこの計画は今回のゲームが始まる前から続いている

のだからな……（）

R 8

（円村サトシ……あなたはなぜひつするへ）

謎の人物とR 8はただ円村達を見つめていた。

…………

そしてこの謎の人物の妨害により、逃走者達はハンター誘導装置を逆の番号順に止めなければならなくなつた。  
さやかと杏子が20・7の装置を止めたため、残りは6台。

キュウベえ

「今まどかから電話があつて、7から順番に装置を止めるみたいな  
んだ」

古泉

「随分と手の込んだミッションですね。テレビでもたまにうつこつ  
のありますからね」

Ｚ〇・6の装置の近くで待機していたキュウベえの近くを古泉が通り掛かり、一人で装置を止めた。

ハンター誘導装置 停止 残り5台

古泉

「次はＺ〇・5の装置ですね」

キュウベえ

「ボクも探してみようかな……」

一方、Ｚ〇・1の装置の近くの二人は……

春香

「これは一番最後かも……もつ……何で逆なの……」

律子

「とにかくまた1台止められたみたいだし、手分けしてＺ〇・5を探すわよ」

冬馬

「言わねなくとも……」

三人は別々に次の装置を探し始めた。

残り時間 83:06

賞金 ￥664200

残り19人

## 大量ハンター放出の恐怖（後書き）

次の逃走中は来年の1月と予想するこの私午後零P。  
あちらのドラマの展開も気になります、……

## 混乱のステージ（前書き）

遂にP S3版アイドルマスター2発売！

木星がS4Uに登場、DLCで初音ミク登場。

そしておまけモードで律子と竜宮小町にスポットライトが.....！

箱ユーザー.....

## 混乱のステージ

残り時間 83:00  
賞金 ¥6660000

前回 開始時 20人  
確保 1人

残りの逃走者 19人

ハルヒ

「ちょっとー? 何で切替不可なのよ!」

再びN.O.3の装置へと戻ったハルヒ。しかし、数字とは逆の順番に装置を止めなければならない事を彼女はまだ知らない。

一方、こちらはショッピングエリアに隠れている雪歩。

雪歩

「ううう……今日はあまり動きたくないですう……やつぱりハ

ンター恐いよ~

だんだんハンターに慣れてきている雪歩だが、前回ハンター6体に追いかかけられたのが軽いトラウマになつていて、今回セミションは誰かに任せようがだ。

所変わつてこひらはエリア北西の美術館。

杏子

「あ、あつたあつた、Ｚ〇・5！」

さやかと杏子が美術館の屋上に設置されたハンター誘導装置を発見。

二人でレバーを降ろし、装置を停止させた。

ハンター誘導装置 停止 残り4台

さやか

「……ハンター居るー。」

見晴らしの良い屋上から噴水の近くを歩きながら、ひりへ近づくハンターを発見。

杏子

「やばいなこれ…………登つて来られたら逃げ場ないぞ」

さやか

「…………ん？」

その時、ショッピングエリアの方に向かを見たさやか。

絵理

「あ、止まってる？」

既にさやかと杏子に止まっていた。・の装置を見つけた絵理だ。  
先程のハンターは屋上のさやか達に近づかずそちらへ向かっている。

さやかが手を振つて知らせようとするが、絵理はさやかにもハンターにも気づいていない。

ハンター

「…」

絵理

「ひうつー！」

見つかつた……

杏子

「あちゃー……」

絵理が追われている間に美術館の中へ降りる一人。

そして二人が一階まで降りた頃に……

絵理

「ひやーー！」

ポンッ

「水谷絵理 確保 残り18人」

残り時間 81:19

賞金 ¥696300

絵理

「もつ.....無理?」

前々回の健闘ぶつはぢこくせり.....

涼

「ちよーい! ? 絵理ちやーん! ?

古泉

「『水谷絵理確保』ですか.....」

マミ

「水谷さん確保〜!」

牢獄組

「あ～……」

杏子

「「」からは別々に探すか？」

さやか

「別にいいけど？」

美術館を出た二人は、一歩に分かれて装置を探し始める。

杏子

（「」のミッションで、あと一個止められたら自首するか……）

自首を考え始める、大食い魔法少女。

エリオ

「あつた！ノ〇・4！」

ハルヒ

「あたしら絶好調じゃない！？ねえそつじゃない！？ねえーー？」

エリオ

（テンション高いな～）

こちらではエリオとハルヒが合流し、先程エリオが通り過ぎた装置を発見。しかも幸運な事に、No.4の装置だ。

エリオ

「切替可能になつてますね」

ハルヒ

「ほらほら、チャツチャと降ろす！」

順番が逆になつている事を知らないまま装置を止める一人。

ハンター誘導装置 停止 残り3台

ハルヒ

「じゃ～ね！」

エリオ

「あ、涼宮さん……行つちゃつた」

残り時間 80:00  
賞金 ¥720000

ハンター放出まで5分を切った。

このままでは3体のハンターが放出され、非常に厳しくなる。

キヨン

「ん？ 既に4台止まってる筈なのに何でN.O.・2が……」

森の中でもまだ止まつていないN.O.・2の装置を見つけたキヨン。彼も順番が逆なのに気づいていない。

そこに一人の逃走者が。

古泉

「ありましたか」

キヨン

「おお。 でも切替不可になつてるんだが……止める前に何かしないとダメなのか？」

古泉

「いえ、特に何も。数字の逆の順番に止めるだけです」

キヨン

「何だよそれ……」

その時、近くにハンター……

ハンター

「！」

古泉

「では別の装置を探しに行きましょう。ハンター放出まで時間がありません」

キヨン

「やれやれ……ってハンターだ！」

迫るハンターに気づき、森の中を走り出す一人。

狙われたのは……

古泉

「来ましたか……」

ハンター

【LOCK ON HITOKUH】

ハンターの追跡から逃れようとするも、逃げ始めた時のハンターとの距離が近かつたため、すぐに追い付かる。

古泉

「これでは……」

ポンツ

「古泉一樹 確保 残り17人】

残り時間 78:04

賞金 ¥754800

古泉

「いやはや、捕まってしまいました。ハンターってどこからでもやつて来るんですね」

ハンターは神出鬼没。いつどこに現れるか分からぬ。

はやて

「また確保情報…………『古泉一樹確保』やつて」

愛

「あと17人ですね」

ほむら

「だんだん減つてきたわね…………」

春香

「涼宮さん、いらっしゃー！」

ハルヒ

「はいはーいー！」

N.O.3の装置を見つけた春香がハルヒを手招きする。  
ハルヒはさやかと杏子が止めたN.O.7の装置を見て気づいたらし

く、じゅぢりに戻つて来る途中だつた。

残り時間 77:00

賞金 ¥774000

ハンター放出まで

2:00

ハルヒ

「まったく、ミッションはややこしいわあたし以外のMOA団はみんな捕まるわ、なんかやばいわ」

春香

「あれれ？キヨンさんは？（のワの）」

ハルヒ

「あいつはあれで結構しぶといから放つといても大丈夫でしょ、多分」

そう言いつつ20・3の装置を止めた後、一人は別れた。

ハンター誘導装置 停止 残り2台

その時、森の中では……

杏子

「くつ……邪魔だ……」

キヨン

「時間が……」

森の中に20・2の装置を見つけた杏子とキヨンだが、ハンターが近くをうろついている。

その間に時間は過ぎ……

残り時間

75:20

賞金 ￥804000

杏子

「今だ！」

ハンターが別の方向へ歩いていった隙に装置へ近づく。

キヨン・杏子

「やあ、いつ！」

ハンター 誘導装置 停止 残り1台

杏子

「よし、電話さがすか

キヨン

「おい

これまでの装置が止められた。

しかし……

千早

「あ、あれ！」

なのは

「なんか来たー！」

マミ

「間に合わなかつたのね…………」

エリア入口から1体のハンターがもの凄い勢いで走つて来る。これにより、ハンターの数は5体となつた。

冬馬

「うおっ危ねー！」

そのハンターはZ.O.・1の装置へ戻つて來ていた冬馬の近くを通り過ぎる。気づかれていないようだ。

冬馬

「天海、もうここのぞく

春香

「はあ～…………危なかつたよ～…………」

その近くには隠れていた春香。装置の近くで居た冬馬に近づいて冬馬に制止されていたらしく。

冬馬

「やつとクリアだな」

春香

「1体放出されちゃつたけどね……」

冬馬

「1体だけならまだ余裕さ」

そして一人の手により、最後の装置が止められた。

ミッショングリア

ピリリッシュピリッシュ

律子

「お？『天海春香、天ヶ瀬冬馬の活躍により最後のハンター誘導装置が停止』」

フェイト

「『しかし、エリア内に1体のハンターが放出された』」

キヨン

「『現在のハンターの数は5体』か……」

ハンター1体の放出を許したもの、ハンター誘導装置を無事に停止し、被害は最小限にとどまった。

現在、エリア内には5体のハンター。捕まれば、賞金は0。

残り時間	73:29
賞金	¥837300

残り17人

## 混乱のステージ（後書き）

発売したのはいいんですが、P S 3を持つていない私。

しかし、ニンテンドー3DSやよみうりベビープレイ動画やステージ動画を見るだけでも楽しいですよ。

## 動乱（前書き）

以前まじめやポータブルでQB視点のカードがあると前書きで書かれていたが、その後の情報により、基本的にはQB視点だと判明。（本当かどうかはまだ不明）

まどか達を生かすも殺すもあなた次第（笑）

## 動乱

残り時間 70:59  
賞金 ¥882300

前回 開始時 19人  
確保 2人

残りの逃走者 17人

さやか

「ふ〜、活躍したな〜」

杏子と協力してミッションに貢献し、ハンター誘導装置を2つ止めたさやか。現在はその前に竜宮小町と出会ったステージの近くで様子を伺っている。

その近くの物影に……

さやか

「あれ？ 雪歩？」

雪歩

「わひい！」

かなりビビつている様子。

さやか

「前逃げ切った事があるのに今日は何もしてないみたいだったからちょっと気になつてたんだけど……今日はミッションとかは……行く気なさそうね」「…………

「……………慣れてはきたけどできれば今田は隠れていきたいです」

さやか

「まあ、船の中で6体ぐらいに追いかけられれば誰だってそうなるよね……恐くて隠れてるんだつたらまだいいわ。どこぞの赤い帽子の奴は恐くもないとせにずっと隠れて動こうとしないんだから」

雪步

「…………でもやつぱり、こんな恐がりな私なんて…………穴掘つて埋まつてますう～！」

さやか

「はいはい、ストップ（雪歩のスコップを放り投げる）」

雪步

「私のスコッブ～！」

キヨン  
「しかし、まかりなりにも学生である俺らが参加していくものなの  
か?」

眩きながら美術館の周辺を歩くキヨンの背後で、ハンター……

キヨン  
「ま、涼宮は全く気にしないようだが…………」

ハンター  
「……」

すぐさまハンターに追いついて走るキヨンとそれを追いつハンター。

さやか  
「やばー……?」

雪歩  
「ひこーー。」

近くに屈たさやかと雪歩はキヨンの姿を見て身を隠す。

その時……

ガツ！

ハンター

「！？」

どんがらがつしゃ～ん！

先程さやかが投げて地面に落ちていたスコップを踏んでハンターは転倒。

しかも何の偶然か、このハンターは前々回でポイ捨てされたお菓子の袋を踏んで転んだハンターと同じ顔だった。

ハンター

「？」

ハンターが起き上がった時には既にキヨンは視界の外。

一方、噴水近くの自首用電話に近づく逃走者が一人。

杏子 「あそこか」

先程のミッションにおいて、N.O.・5の装置を止めた後、自分があと一つ装置を止めたら血首すると言っていた佐倉杏子だ。

周りにハンターが居ないか警戒しながら電話ボックスに近づく。

杏子 「よしー。」

ボックスを開き、中の携帯電話を手に取った。

杏子

「さやかには悪いけど、あたしは一足先にお金頂くぞ。だつて80万だつてあたしらにとつては十分大金だ。変に欲張ると口クな事がないつてのをあたしはよく知つてゐるぞ」

電話のボタンを押す。

杏子

「あ～、もしも～し？佐倉杏子だナビ、自首するわ～」

## 自首成功

残り時間 66:46

賞金 ¥958200

佐倉杏子 賞金95万8200円獲得

杏子

「きゅ、95万！？もうやんにいってたのかー…やつた…  
れでしばらくは飯には困らないぜ～……」

ピココロシピコリッ

はやて

「ん？『自首情報』やどー？」

さやか

「『佐倉杏子自首成功』…………杏子…………」

牢獄DEトーク

マリ

「佐倉杏子自首…………」

なのは

「えーーー。」

千早

「遂に自首が出てしまつたわね…………」

マリ

「まあ、大体予想はしてたわ。佐倉さんつてあれで生活大変みたいだし、お金を欲しがるのも無理はないかしら」

絵理

「私達の周りでは初めて？」

古泉

「そりなんですか…………」

みぐる

「最近は自首したらブログが荒れるって言われてますし……」

キヤロ

「やつこつものなんですか?」

ティアナ

「あたしは許せる自首だと思つけどね。だつてやつもの//シジョンで一番活躍してたし」

なのは

「でもさやかちやんは絶対許してくれないかもね……」

長門

(量子力学の本を読んでいる)

まどか

「あ、また会いましたね」

冬馬

「ひむ」

このゲームの中ですっかり仲良くなつた二人。

まどか

「向で杏子ちゃん自首するの……」

冬馬

「俺に言われても…………はあ…………」

まどか

「？」

冬馬

「いや、さつき俺のファンに会つたんだけどさ、最近俺に変な愛称  
がついてるみたいなんだよな…………さつきは『鬼ヶ島羅刹』って呼  
ばれたり…………」

まどか

「あ～、でもそれぐらいならまだ…………この前クラスの男子に冬馬  
さんの事『ピピン板橋』って呼んでた人居ましたから」

冬馬

「『天ヶ瀬』の『あ』の字すらねえ！？つーかピピン板橋って誰だ  
よ！？」

謎の愛称で盛り上がる、一人。

涼

「白首が出ちゃつたか…………」

前回は最後まで逃げ切った涼は白首が出た事にがっかりな様子。

涼

「それより、楽しそうだな……」

涼はショッピングエリアにて行われている竜宮小町のステージを見ていた。

ステージはここが逃走劇の舞台となっている事を忘れてしまつよつ  
な盛り上がりを見せている。

しかしその時、事件が起きた。

涼

「ん？」

白いフードの人物がステージへ走り……

？

「危ない！」

伊織

「さやあ！？」

謎の人物が伊織と共に床に倒れ込むと同時に、機材の一つが砕け散

る。

これを引き金に観客はパニックに陥り、スタッフはそれを避難させようと動き出す。

あずさ

「伊織ちゃん！」

亜美

「だれ？この人？」

？  
「早くこっちへ！」

三人は訳も分からぬまま謎の人物に連れられ、美術館の中へ。

月村

一方、月村達は

……

「まさか直接ゲームを荒らしに来るとはな……」

フニース

「ビバヤービーからか狙撃してきたようです。今の所死傷者はありませんが……」

月村

「そりが……（今の状況からして、明らかに水瀬伊織が狙われていた。あちらの目的は一体何なんだ？暗殺が狙いならあんな大量のクローンは必要ない……）」

アイリス

「それより、もうすぐ地下制圧用ハンターが到着します」

月村

「マズイな……竜宮小町の三人が今あの中へ入っていっている。あそこは地下はクローン製造施設、何があるか……」

月村は端末を操作し、牢獄の近くに一台の機械を設置した。

月村

「不本意ではあるが、彼女達の救出は逃走者に任せむしかないようだ……」

残り時間 62:00

賞金 ¥1044000

涼

「なななな、何か凄い事に……」

さやか

「どうなってるのよ……」

雪歩

「うう……」

ペニコラジニア

さやか

「え? こんな時? リラクゼーション? なんて……」

律子

「『エリア内で起きた事件によつて、美術館の中に竜宮小町の三人が逃げ込んでいる』…………ああ、そういうえば…」

春香

「『ゲーム45分までに三人を美術館の外へ連れ出さなければ、その人数に応じて』…………」

スバル

「『その人数に応じてこれまでの賞金が減額する』…………ちょっとやばいじゃん！」

キユウベえ

「『また、ゲーム残り50分になると美術館の扉が封鎖され、中に30体のハンターが放出される』…………結構多いな…………」

「MISSION3 賞金減額を阻止せよ！」

現在、エリア北西の美術館の中には竜宮小町メンバーの水瀬伊織、三浦あずさ、双海亜美の三人が逃げ込んでいる。

ゲーム残り45分までに三人を外に連れ出し、牢獄近くに設置された指紋認証装置に小町メンバーの指紋を認証させなければ、残り45分になつた時点で認証できなかつた人数によつて以下のように賞金が減額される。

クリア 賞金はそのまま

逃走成功 216万円

2人救出 賞金3分の2 & 賞金単価200円  
逃走成功 144万円

1人救出 賞金3分の1 & 単価100円

逃走成功 72万円

全員救出失敗 賞金リセット&単価100円

逃走成功 27万円

また、残り50分に美術館が封鎖され、中に30体のハンターが放出される。つまり、残り50分の時点で三人を外に連れ出す事ができなければ賞金減額が確定する。

まどか

「私、行きます！」

冬馬

「しゃーねーな、俺もさき合ひ

さやか

「あたしは行くからね?」

雪歩

「さ、気をつけ……

律子

「担当アライドルを守るのプロトコーサーの仕事。行かない訳にはいかないわね」これは……

ほむら

「まじかせ!! シンモンやるのかじり……

涼  
「…………よし、行こう。だって田の前であんな事になつたら……

まどか、冬馬、さやか、律子、ほむら、涼が果敢にも美術館へ向かう。

しかし、移動には常にハンターに見つかるリスクを伴う。

加えて、時間に余裕がなければ美術館の中に閉じ込められ、30体のハンターの餌食となる。

果たして、小町メンバー三人を無事に救出し、賞金減額を阻止できるのか！？

残り時間	60	:	51
賞金	¥1	0	64700

残り16人

## 動乱（後書き）

既に分かっている人も居ると思いますが、実はこの作品に出ているキャラは全てPSPのゲームになつてます。

……あれ？ ハルヒにPSPゲームつてあつたっけ？  
あつたら感想欄にお願いします。

## 竜宮小町救出作戦！（前書き）

最近リリカルなのはA~Wに力を入れていてこちらのクオリティーが下がっている気がする今日この頃。

## 竜宮小町救出作戦！

今回の逃走劇のミッションもこれで3つ目。

残り45分までに竜宮メンバーを牢獄前に連れて来れなければ、その人数に応じて賞金が減額される。

残り時間	60:00
賞金	¥1,080,000

前回	開始時	17人
自首	1人	

残りの逃走者	16人
--------	-----

残り時間は遂に半分を切り、賞金は108万円を越えた。

逃げ切れば216万円を獲得できるが、一人でも救出に失敗すれば賞金は大きく減らされ、単価も減額される。

「うべ……」

ほむら

「居るわね……」

途中でスバルと別れ、再び合流して美術館へ向かうほむらだが、その行く手にハンター。

ハンターは駐車場のトラックの影に隠れる一人に気づく事なく通り過ぎるが、まだ油断はできない。少しでも気配を感じれば、ハンターはすぐに確保へと動き出す。

涼

(さわやかさわやか)

一方、こちらはショッピングエリアから美術館を囲む涼。

彼が通り過ぎた物影に……

雪歩

「あ、涼君がミッション行つてる…………私も行つた方がいいんだとは思つんだけど恐くて動けないよ…………今日は何だか嫌な予感もするし……」

前々回の勇姿は見る影もない…………

さやか

「一人で探すのは骨が折れそつ…………」

いち早く美術館に到着したさやか。

しかし、入口の向こうにハンター…………

ハンター

「？」

さやか

「あ～危ない…………」

気づかれそうになつたがなんとかやり過ごす。

しかし、美術館の前で立ち往生…………

まどか

「早く早く！」

冬馬

「分かつてゐつて…… やれやれ、少しは警戒しきみな……」

冬馬を引っ張つて先へ進むまどか。

一瞬見えたハンターをやつ過ごし、美術館まであと少しの所まで来る。

まどか

「ここに竜宮小町の三人が……」

冬馬

「さつきのハンターはどうか行つちまつたみたいだし、さつきと探しに行こうぜ。あ、水瀬はお前の担当な」

まどか

「え？」

冬馬

「水瀬伊織…… あいつには嫌な思い出があるんだよ……」

詳しく述べ3版アイマス2エクストラソードの伊織ルート

参照

まどか

（何かあつたのかな……？）

そして美術館の中へ。

その時、近くに別のハンター

ハルヒ

一  
じ  
か  
し  
さ  
う  
な  
ん  
か  
賞  
金  
の  
減  
り  
方  
が  
中  
途  
半  
端  
じ  
や  
な  
い  
?

その近くでぼやくハルヒに迫るハンター。

# ハンター

1

ハルヒ

「賞金リセットでもあたしは別に良かつたわ。その方がみんな動くから面白い……やっぱ！」

かなり近づかれてようやくハンターに気づき、逃げ始める。

ハルヒ

「嘘つ！？思つたより速つ！？」

ハンター

【LOCK ON HARUHI】

運動能力が非常に高いハルヒだが、ハンターはその上をゆく。

次第に、距離が縮まっていく……

ハルヒ

「やあやあーっ！」

ポンッ

「涼宮ハルヒ 確保 残り15人】

残り時間 57:58

賞金 ¥1116600

ハルヒ

「何で……何で逃げれないのよ……何でこの私がやられち

やうのよ~~~~~！」

天下のSOS団団長も、ハンターには勝てなかつた……

春香

「確保情報…………ええ~!~涼宮さ~ん!~?」

フェイテ

「『涼宮ハルヒ確保、残り15人』…………

涼

「この人だけは絶対捕まりそうにないと思つたのこ…………」

マミ

「涼宮さん確保!~」

古泉

「これは意外ですね…………」

キヨン

「やれやれ、俺一人か」

ハルヒの確保により、残るSOS団はキヨン一人となつた。

スバル

「『ガーデンエリア東部にて涼宮ハルヒ確保』……近いじゃん……」

ほむら

「油断できないわ……」

ハルヒの確保地点に近い場所に居る一人。その近くにはトワイライト・ガーデンの電気整備小屋がある。

ほむら

「居た！」

スバル

「うつ……」

ハンターを見つけ、小屋の後ろに隠れる。

その近くをハンターが通り過ぎていった。

スバル

「セーフ……」

なんとか静かに移動しようとする。

しかし、同じ方向から別のハンター……

ハンター

「！」

ほむら

「…………！」

スバル

「つぎや～！」

すぐ近くまで来たハンターから別れて逃げる一人。

狙われたのは……

ほむら

「マズイ…………！」

ハンター

【LOCK ON HOMURA】

ただひたすらに走り続けるが、ハンターは容赦なくほむらに迫る。

確保まであと2メートル。

ほむら

「ああ……！」

ポンツ

「暁美ほむら 確保 残り14人】

残り時間 57:09

賞金 ¥1131300

まむり

「ゼラ、ゼラ……は、速すがり……思つた以上に辛いわこれ……」

「……」

まどか

「確保情報……ああーーほむりけいふーん！」

一番の親友が捕まり、動搖するまどか。

だがその時……

まどか

「あれ？ もしかして……？」

伊織

「あ、あんたは……」

竜宮小町メンバーの一人、水瀬伊織を発見。

伊織

「あの時の事は感謝するわ。あずさが居なかつたら……」

まどか

「そ、それより早く外へ……」

伊織を連れ、ハンターが居ないか警戒しながら美術館の外を目指すまどか。

涼

「結構広いな……」

同じ頃、涼も美術館に進入して小町メンバーを探し始める。

フェイト

「時間は大丈夫だよね……？」ここで閉じ込められて捕まつたらシヤレにならないよ……」

はやて

「せやな……」

美術館から離れた場所で合流した一人。

その近くに、黒い影。

はやて

「なのはなちゃんがウチらより先に捕まつてもうたのは痛いな……」

フヨイト

「うん……なのはならみんなを引っ張つてミッション行きやうなんだけだな……」

ハンター

「……」

見つかった……

はやて

「……」

「……」

フヨイト

「なつ！？」

「手に別れて逃げる二人。

追われるのは……

フヨイト

「ひいい～！」

フェイトだ……

まだ距離はあるが、確実にハンターは迫つてくれる。

ところが、その先には……

キュウべえ

「そろそろ一人ぐらいは外に連れ出せてる頃だと想つんだけど……」

「……」

このミッションには行かずに様子を見ている、白き宇宙人。後ろを向いているため、背後から走つてくるフェイトとハンターに気づいていない。

その時の位置状況

フ

キ

ハ  
出店

ハンター

「一」

キュウベえ

「（・・・）」

ハンターの標的がキュウベえに切り替わった。

キュウベえ

「え？え？そんな！？」

ハンター

【LOCK ON KYUBEY】

慌てて逃げ出しが、時既に遅し。

キュウベえ

「おじまいみたいだ……

ポンッ

「キュウベえ 確保 残り13人】

残り時間 56:46

賞金 ¥1138200

キュウベえ

「意外と速いな、ハンターって…………もつちょっと遊びたかったん  
だけどな…………」

インキュベーターより、ハンターの方が強かった。

フェイト

「あわわわわわわわ…………また誰か巻き込んじゃったよ…………」

律子

「あ～ら、『鹿目九兵衛確保』だつて

今のキュウベえは鹿目家の養子という事なので、メールにはこう表

記されている。

愛

「これで半分捕まつたんだ……」

さやか

「遂にキュウべえが捕まつたか……まああたしにはあんまり関係ないわ」

そして同じ頃、さやかが美術館に到着。  
竜宮メンバーを探し始めるが、美術館封鎖の時間は刻一刻と迫っている。

間に合うのか！？

残り時間 55:21

賞金 ¥1163700

残る逃走者達

天海春香 萩原雪歩 秋月律子 日高愛 秋月涼 天ヶ瀬冬馬 鹿

田まどか 美樹さやか キヨン フェイト・T・ハラウォン 八神  
はやて スバル・ナカジマ エリオ・モンティアル

残り13人

竜宮小町救出作戦！（後書き）

残っている逃走者の半分がアイマスマンバー。  
他のメンバーはいい所を見せられるか！？

逃走劇はもうすぐ後半。(前編)

逃走劇はもうすぐ後半。

果たして、リッシュコンクリアなるか！？

## 迫る一つのタイムマニアック

残り時間 55:08

賞金 ¥1167600

前回 開始時 16人

確保 3人

残りの逃走者 13人

律子

「あれ？」

まどか

「あ、律子さん！私今伊織さん連れて来ました！」

律子が美術館へ入ろうとした時、伊織を連れたまどかと遭遇。

律子

「伊織は見つかったのね。そっちは任せるわ」

それを聞いて、まどかは伊織と共に牢獄へ向かう。

フェイト

「行こうか……でも時間が……」

フェイトもミッショソに向かおうとするが、既に美術館封鎖まで残り5分を切っているために断念。

うろつく彼女の近くに、ハンター。

ハンター

「…」

フェイト

「ま、また…!？」

三度ハンターに見つかり、その度に他の逃走者を巻き込んだフェイト。

逃げた先には……

「今誰がミッション行つてゐるんだ？……」

春香の姿……

フェイト

「いやあ～！」

春香

「へー？」

フェイト

「逃げて～！」

ハンターを連れて来たフェイトから逃げる春香。

しかし途中でフェイトに追い越され、確保まであと4メートル。

ハンター

【LOCK ON HARUKA】

春香

「ひーあ～！」

ポンツ

「天海春香 確保 残り12人】

残り時間 53:17

賞金 ¥1200900

春香

「またダメだつたよ～…………」

フェイント

「ううう…………また誰か巻き込んじゃつたよ～…………」

罪悪感に、打ちひしがれる女。

「また確保情報……『ガーデンエリア東部にて天海春香確保、残り12人』…………といつも悪運尽きたか…………ん？」

メールを見ている間に、小町メンバーの誰かを発見。

亜美

「あ、ピピン板橋だ！」

冬馬

「お前までそれを言つが！」

亜美

「ん～？ またいおりんとアレやりたいの？」

冬馬

「頼むからそれだけはマジ勘弁してくれ…………」

とりあえず亜美を外へ連れ出す事にした。

涼

「ど～ですか～？」

さやか

「私もファンなんですよーーー！出て来て下さーーいーーー！」

律子

「亜美～？あずささん？」

残るあずさを探して美術館内を歩き回る」の二人。

残り時間 52:00

賞金 ￥1224000

美術館封鎖まであと2分。

美術館の中に閉じ込められれば、30体のハンターの餌食だ。

涼

「あれはーーあずささんーーー！」

あずさ

「あら、涼君」

そんな中、あずさを見つけた涼。

あずさ

「…………

涼

「ビツしたんですか?..?

あずさ

「さつさく涼神に似てる田舎の子が私達をリリに連れて來たのよ…………」

涼

「僕に似た…………いやまた……そつこねば僕が逃げ切ったやつがテレビであった時、『グレイイト・エスケーパー計画』っていうのとか千早さんや雪歩さんクローンが出て來たり…………まさか僕のクローン!~?」

あずさ

「ビツしたの?..?

涼

「あ、いえ…………それじゃ、外出まじゅうか

あずさ

「は~い」涼とは真逆の方向へ歩を出す

涼

「あずさーん~!さつさくなーい!」

残り時間 51:00

賞金 ¥1242000

冬馬

「脱出成功だぜ」

亜美

「レッツゴー！」

律子

「もう美術館にハンター来るまで時間ないわね」

亜美を連れた冬馬と律子が別々の入口から美術館を脱出。

さやか  
「どう〜?」

涼

「早く早く～～～」

あずさ

「ちよつと待つて……」

まだ脱出できてこなこ涼とあせか。

そして……

涼

「ギリギリだった……」

封鎖直前で涼は美術館からの脱出に成功した。

一方、月村達は……

残り時間 50:00  
賞金 ¥1260000

月村

「時間だな……」

ゲーム残り50分になつたと同時に月村が端末を操作すると、美術館の扉が動き出し、封鎖された。

さらに、美術館のある一室にいつの間にか送り込まれていた30体のハンターが一斉に放出され、美術館内に取り残された美樹さやかの確保へと向かう。

さやか

「え……？嘘！？」

さやかも自分が閉じ込められた事に気がつも、慌て始める。

さやか

「どうすりゃいいのよこれ？ハンター30体来るんでしょー？残り50分！」の中で頑張れって事～！？」

そして、さやかにハンター30体の恐怖が迫る。

ハンター×5

「ー」「ー」「ー」「ー」「ー」「ー」

さやか

「あや～ー。」

大量のハンターに見つかって、恐怖に染まつた表情で逃げ始めやむか。

ハンター×3

「ー」「ー」「ー」

ハンター×2

「ー」「ー」

さやか

「うわ～っ！いや～ぎめああ～ひよつと待つて～！ヘルプ！ヘルプミー！」

ハンターは次々とさやかを発見し、容赦なく追い詰める。

さやか

「うう……時間が来てるのに全然気づかなかつたよ……」

そしてさらに正面からハンターが迫り、さやかは逃げ場は完全に失つた……

さか

「あたしつて、ほんとバカ…………」

# ハンター×20

〔LOCK ON SAYAKA〕

THE JOURNAL OF CLIMATE

T<sub>1</sub> T<sub>2</sub> T<sub>3</sub> T<sub>4</sub> T<sub>5</sub> T<sub>6</sub> T<sub>7</sub> T<sub>8</sub>

さやか

「美樹さやか 確保 残り11人」

賞金 残り時間 ￥1272600 49:18

伊織

「これに指をやればいいのね？」

まどか

「はい！」

同じ頃、まどかは伊織を牢獄前の指紋認証装置に連れて行き、指紋を認証させていた。

一、二、三、四、五、六、七、八、九

まどか

「やりました！」

ハルヒ

「へえ、カワイイ顔して結構度胸あるじやないの」

キュウベえ

「そりゃそつや。僕らのまどかだからね」

古泉

「僕らの？」

なのは

「まあでも、まだ一人居るからね……」

ペコリッシュペコリッシュ

まどか

「あ、確保情報……えーと………いやかちやああああああああああああん！」

マリ

「あ、ホントだ！美樹さん確保だつてー！」

杏子

「さやか――――！」

スバル

「『美術館内で美樹さやか確保』……30体のハンターにやられちやつたんだ……」

涼

「あとちよつとで同じ田に逢う所だった……」

その時……

冬馬

「よつしや着いたぜー！」

亜美を連れた冬馬が牢獄へ到着。

まどか

「冬馬さん、早く～。」

冬馬

「分かつた分かつた！」

亞美的指紋を認証させ、残りはあずさ一人となつた。

まどか

「後でサイン一枚お願ひしますー。ママとあざかわさんがジユピターのファンなんですー。」

冬馬

「別にいいけど、今いじめの事かー。？」

残り時間 47:00

賞金 ¥1314000

涼

「いらっしゃですー。」

あずさ

「はいはーい

涼もあずさを牢獄へ連れて行こうと急ぐ。

しかし、背後にハンター……

ハンター

「…

涼

「うつそおおおー!?

あずさを置いてハンターから逃げる。

ハンター

「?

ハンターに気づいたのが早かつたおかげで、うまく撤いたよつだ。

だが……

涼

6

7

8

9

残り時間 45:10  
賞金 ￥1347000

そして  
……

逃げるのに夢中であざさを見失ってしまった。

「あれ！？あざささん？」

あざさを牢獄へ連れて行く事ができないまま、ミッション終了の時間を迎えた。

	1	2	3	4	5
残り時間	45:00				
賞金	¥900000				

はやて

「メールや…………『ミシショーン失敗』やでー?」

律子

「『天ヶ瀬冬馬、鹿田まどかの活躍により、三人中一人の指紋認証に成功』」

エリオ

「『これにより全員の賞金が3分の2となり、単価は1秒200円に減額された』…………うわー、僕も行けばよかつたー!」

マミ

「『なお、自首者の獲得賞金も同様に3分の2に減額される』だつて……」

杏子

「嘘だろーー?」

マリ

「ホントよっ。」

ハルヒ

「さあみりつてのよー。」

涼

「後で冬馬さんとまどかちやんに謝りに行こうかな……」

ミッション失敗により、全員の賞金は残り45分の時点から3分の2に減額された。

賞金単価も1秒200円に減額され、逃げ切れば賞金は144万円となる。

但し、ハンターに捕まれば、賞金は0。

ついでに自首した杏子の賞金も減額され、獲得賞金は63万8800円となつた。

牢獄D.E.T.O.K

マリ

「美樹さんが戻つて来たわ！」

ミッシュヨン終了からおよそ1分後、ボロボロのさやかが牢獄へ帰還。

さやか

「死ぬかと思った……」

マミ

「よしよし……」

キユウベえ

「30体のハンターフィーディングを感じだつた？」

さやか

「そりや恐かつたに決まつてゐでしょー。どこからでもゾロゾロ出て来て本当に恐かつたよー！」

ハルヒ

「うわあ…………さすがのあたしも引くわ…………」

古泉

「確かに、あんなのに囮まればたら一般人なら恐いでしょうね」

キヤロ

「一般人じゃなくてもあんな黒い服の人に追いかけられたら誰だつて恐いですよ…………」

千早

「ええ。 1体だけでも恐ろしいのに……」

みくる

(ブルブルガタガタ)

さやか

「『リアル鬼』」の実写版あつたでしょ？ そのシーンみたいに囮まれた時は本当にあたし死ぬかもって思ったよ……」

なのは

「あ～、見た事ある」

ティアナ

「あたしは小説で」

絵理

「私も？」

ほむら

「まどかがハードカバーのその本を立ち読みして震えてるのを見た事があるわ」

さやか

「ストーカー！」

春香

「ただいま」

ハルヒ

「あ、お帰り。どこ行つてたのよ？」

春香

「財布持つて来てたから途中でジュース買つてた」

キャロ

「いいのかなあ？勝手に飲み物買つて？」

さやか

「それより、杏子ーー！」

杏子

「ん…………ー?」

さやか

「予想はしてたけど、何で自首したのよ…………！」『人魚の魔女』

杏子

「そりやたまにはあたしも大金欲しいしつーかなんか出てるぞー!?」

さやか

「このゲームは逃げ切る事に意義があるのよー汗水流して必死になつてハンターから逃げるから、名誉も賞金もあるんだよー！」

杏子

「わ、分かったからそのどつかで見たようなオーラをしまえー！」

長門

(ギリシャの学者についての本を読んでる)

一方、月村達は……

アイリス

「三人は無事に外へ脱出したようです」

月村

「そうか。さて……」

美術館前に居る三人に近づく影。

月村

「まさかお前が主犯だつたとはな……」

月村達の前に現れた、グレイト・エスケーパー計画の主犯と思われる一人の男。

逃走劇と計画阻止のための戦いはクライマックスを迎える。

残り時間 42:58

賞金 ¥ 923600

残る逃走者達

萩原雪歩 秋月律子 日高愛 秋月涼 天ヶ瀬冬馬 鹿目まどか  
キヨン フェイト・T・ハラウォン ハ神はやて スバル・ナカジ  
マ エリオ・モンティアル

残り11人

## 迫る11月のタイムコマッシュ（後書き）

次回、遂にグレイト・エスケーパー計画の全貌が明らかに！

そして、賞金減額に落ち込む暇もなく、逃走者達に最大のピンチが訪れる！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5037w/>

---

逃走中 Mix M@ster! ~グレイト・エスケーパー計画を阻止せよ! ~

2011年11月27日19時57分発行